

主催者あいさつ

全国労働組合総連合議長 小田川義和

被災から 65 年目のビキニデー、日本原水協全国集会に、ご参加いただいた皆さん、大変ご苦労様です。

全体集会の開会にあたり、全労連の小田川から、ご挨拶を申し上げます。

本集会には、海外から、韓国のイ・ジュンキュさん、アメリカのジョゼフ・ガーソンさん、リトアニアのゲディミナス・リムデイカさんに、遠路お越しいただいています。

また、お忙しい中、日本被団協と日本共産党から激励、連帯のご挨拶をいただくことになっています。

ご紹介し、お越しいただいたことに感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。

さて、昨日から米朝首脳会談が再開されていることに象徴されますように、核兵器廃絶と平和に向かう東アジアの動きはこの 1 年、大きく変化しています。

昨年 4 月 27 日の韓国と北朝鮮首脳歴史的な板門店会談を契機に、米朝の戦争の危機から朝鮮戦争の終結に一気にベクトルが変わるといふ劇的な変化が起きました。

この変化の背景には、一昨年 7 月、被爆者の心からの叫びを受け止めて採択された、核兵器の開発、実験、製造、備蓄、移譲、使用、及び威嚇としての使用の禁止と、核兵器の廃絶に関する条約の採択に後押しされた世界の世論があることは明らかです。

アメリカが旧ソ連との間で結んだ中距離核戦力条約を破棄するという逆流も起きてはいますが、すでに 70 か国が署名、今日 22 か国目南アフリカが批准し、発効が見通せる動きとなっている核兵器禁止条約の力は増しこそすれ、減ることはありません。

この集会でも、この点を確認し、確信を深めあいましょう。

国内に目を転ずれば、憲法 9 条の改憲に執念を燃やし、近隣諸国を脅威とみなして戦争する国への軍拡を急ピッチで進める安倍政権が、立憲主義を踏みにじり、民主主義を壊し、言論、思想信条の自由などを侵害し続けています。

異なる意見に耳を傾けず、うそとごまかし、隠ぺいで事実を捻じ曲げ、国会内の虚構の数に頼る政治の歪みは、モリカケ疑惑や自衛隊の日報隠し、さらには統計不正によるアベノミクスの成果のねつ造でも表面化しました。

明日 3 月 1 日は、日本が植民地支配を行った朝鮮半島での 3.1 独立運動家ら 100 年目の日です。

その時の独立宣言の一節に、「支配者はいい加減なごまかしの統計数字を持ち出して、自分たちの行う支配が立派であるかのように言っている」とあるのを知りました。

政府の情報の操作の行き着く先を示す言葉ではないでしょうか。